

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
中学校	和歌山市立城東中学校	梅野芳作
学校所在地		
〒 640-8331 和歌山県和歌山市美園町2丁目63 Tel 073(424)4408 fax 073(424)4409 e-mail joto@wakayama-wky.ed.jp		
担当者名	役職名・担当教科	
境原周太郎	教諭・理科	
<b>〔学校の概要〕</b> 本校は、紀州徳川家五十五万五千石の旧居城、和歌山城の東に位置し、校区には和歌山市の玄関であるJR和歌山駅を含む学校である。平成23年度より、総務省の「フューチャー・スクール推進事業」と文部科学省の「学びのイノベーション事業」の研究指定を受け、一人1台のタブレット型パソコンや電子黒板等、ICT機器を用いた授業改善に取り組んでいる。また、本校はカナダのリッチモンドにあるスティーブストン・ロンドン中高等学校と姉妹校提携を結んでおり、隔年ごとに訪問を繰り返している。		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
学年 3年生 99名	14名 職員 7名	三軒茶屋跡～熊野本宮大社
実践研究テーマ		
郷土に対する理解を深め、国際交流に寄与する人材の育成		
実践教科等名	単元名	
総合的な学習の時間	和歌山の世界遺産について知り、国際交流の架け橋にしよう	
〔キーワード〕 郷土学習 世界遺産学習 国際交流		
<b>〔単元目標〕</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>事前の世界遺産講座や現地での学習を通して、和歌山県の世界遺産について理解を深め、郷土に対する誇りや愛情を育てる。</li> <li>事後指導では学んだことをまとめ、国際親善の場などで和歌山県の魅力を伝える力を育てる。</li> </ul>		
<b>〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕</b> 全体 7時間 （「和歌山の世界遺産について知り、国際交流の架け橋にしよう」 7時間 ）		
<b>〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界遺産センターの方に本校にお越しいただき、生徒に向けて世界遺産についての講話をしていただいた。</li> <li>現地で、センターの方々にガイドをしていただいた。</li> </ul>		

## 実践校に関する事項

## 〔単元指導計画概要〕

	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	事前世界遺産講座	本校体育館で世界遺産センターの仲さんよりお話をしていただいた。	観察 感想文
2	パンフレットを読む	各クラスで、「紀伊山地の霊場と参詣道」についてのパンフレットを配布。読み合わせをおこなった。	観察
3	現地学習 道普請	三軒茶屋周辺で道普請をおこなった。土を運び、「たこ」と呼ばれる道具を使っての道を固める体験をした生徒もいた。	観察
4	現地学習 ウォーキングなど	世界遺産センターの方々の説明を聞きながら三軒茶屋から熊野本宮大社まで歩いた。	観察
5	振り返り	現地学習の後日、感想を記入させ振り返りをおこなった。	感想文

## 〔単元学習の成果と課題〕

- 成果** 道普請という貴重な体験ができ、子どもたちの中に強く印象に残った。  
和歌山県で生まれ育った子どもたちでも、熊野古道について学習している子どもや実際に行ったことのある子どもは少ない。今回の学習によって郷土の世界遺産についての理解を深めることができた。  
生徒だけでなく本校職員にとっても郷土について理解するよい機会となった。
- 課題** 総合の時間の確保が難しく、事前指導および事後指導を十分におこなうことができなかった。特に事後指導については、まとめをする時間をきちんと確保したい。

## 〔世界遺産学習の効果〕

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」について、知識のある生徒や実際に行ったことのある生徒は少ない。今回、事前の世界遺産講座や道普請などの体験を通じた現地学習により、知識を深めるよい機会になった。生徒は、これからも和歌山県について知り、理解を深めていこうとする意欲が高まったと考えられる。

## 〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕

今回は事後指導の時間を十分にとれず、まとめや発表の時間を確保できなかった。本校ではカナダの学校と交流があるため、今後このような機会があれば、時間を十分に確保した計画を立て、国際親善などの場面で役立てられるように工夫したい。

## 様式 2

平成 27 年度 「次世代育成事業」における学習記録

[概要報告書 学習記録・活動写真]

### ○事前学習



本校体育館にて、世界遺産センターの仲さんにお話していただいた。生徒は世界遺産に認定されるまでの流れなどについて興味をもって聞いていた。

### ○現地学習



道普請ではどの生徒も一生懸命に土を運び、1 t あった土もあっという間に運びきった。



世界遺産センターの方々にガイドをしていただきながら、三軒茶屋から熊野本宮大社を目指して歩いた。熱心に説明を聞き、熊野古道についての知識を深めることができた。